

王城寺原演習場対策協議会の開催

令和8年1月15日、王城寺原演習場対策協議会（構成委員 宮城県副知事、大和町長、大衡村長、色麻町長）が宮城県庁において開催され、東北防衛局は同協議会に対し、令和7年度の王城寺原演習場における沖縄県道104号線越え実弾射撃移転訓練の日程、訓練規模、訓練見学会等について説明しました。

協議会では、会長である伊藤哲也宮城県副知事の挨拶の後、池松英浩東北防衛局長から挨拶と訓練概要等の説明がなされ、引き続き榮森賢企画部次長から去る12月25日に同協議会から防衛大臣宛てに提出された要望書に対する対応について説明を行いました。この説明の他にも各委員から質疑がなされ、池松局長から地域住民の安心・安全に万全を期すこと、適時・的確な情報提供を行うことなどの回答をしました。



挨拶を行う池松東北防衛局長

協議の結果、協議会からは、本訓練が我が国の安全保障及び沖縄県の過重な負担の軽減という観点から、国の責任において実施されるものであり、火器の見直しを含めた本訓練の実施はやむを得ないものとする回答をいただきました。

東北防衛局では、訓練の円滑かつ安全な実施と、地域住民の方々の不安解消を図るため、王城寺原演習場内に「現地連絡本部」を設置し、地元自治体等への情報提供や連絡調整のほか演習場周辺の巡回など、24時間体制で対応することとしております。



伊藤宮城県副知事



池松東北防衛局長

(左：森川大臣官房参事官、右：榮森企画部次長)